

誰もが誰かのサンタになれる。

10 H₂O サンタ

チャリティー活動報告



「体温」を持つネットワーク——財団設立10周年

2012年に活動を開始し、2015年11月の法人化を経て歩んでまいりました一般財団法人H2Oサンタは、このたび設立10周年という大きな節目を迎えました。

これもひとえに、私たちの活動にご理解と共感とともに、時に温かく見守り、時に積極的な行動で支え続けてくださったみなさまのおかげです。心より感謝申し上げます。

私たちH2Oサンタは、百貨店やスーパーというモノやコトが溢れるお買物や集いの場所を主な活動場所としています。この10年を経て蓄積された一番の財産は、数字といった形式的なものだけではありません。お買物という日常のワンシーンから、誰かを想う気持ちが静かに、でも確実に繋がっていく「目に見えないけれど、確かな体温を持ったネットワーク」です。例えば、店舗のトークイベントで「パラリンピックを目指したい」と力強く語ってくれた少年。周囲との繋がりに不安を感じていた少年が、イベント観覧を機に自らの居場所を見つけボランティアとして社会に歩み出した姿。長期療養中のベッドの上からオンラインで参加してくれた全国各地からのこどもたちの笑顔。こうした一つひとつの光景こそがネットワークの「体温」であり、それこそがH2Oサンタらしさと考えています。

いま、社会は「分かち合うこと」に豊かさを見出す人が増え、価値観が入れ替わるような大きな変化の中にあります。ある方が「こどもたちのために寄付ができて、気分が良いです」と言われていました。「チャリティー」は、決して義務でも特別なことでもありません。誰かを想い、誰かの「ありがとう」で自分自身も満たされる、そんな心地よさの循環をこれからも広げてまいります。

私たちの合言葉は「誰もが誰かのサンタになれる。」です。みなさまからのさらなる共感と未来を共に歩む温かいご支援を引き続きお願い申し上げます。



一般財団法人H2Oサンタ
事務局長 外間孝次

地域社会にチャリティーの文化を創造するために

2025年7月30日(水)、日頃から活動を支えてくださっている賛助会員のみなさまへ、一般財団法人H2Oサンタの1年間の活動を報告いたしました。



『一般財団法人H2Oサンタ 2024年度活動報告会』は、大阪市北区にあるAP大阪駅前APホールにて開催し、61社90名の賛助会員のみなさまにご参加いただきました。

報告会は代表理事の荒木による開会の挨拶からスタート。財団設立10周年という節目の年を迎えられたことをみなさまに感謝申し上げるとともに、物価高騰などで先の見通しが立ちにくい中、一部のこどもたちは大変厳しい環境で生活していることを懸念し、今後もこども支援団体と連携しながらチャリティーイベントや募金活動を継続し、拡大していく決意を語りました。

その後、事務局長の外間より社会貢

献団体と一般の方々をつなぐH2Oサンタの役割や、社会貢献団体が抱える課題についてお伝えし、2024年度の決算・活動報告を行いました。

2024年度は新たにキャッシュレス決済(PayPay)での寄付受付を開始。チャリティートークイベント開催時、会場の大型ビジョンに二次元コードを投影することにより、その場での寄付につながりました。さらに、20回目を迎えた「NPOフェスティバル」では、新型のおもしろ募金箱も設置し、楽しみながらこども支援に参加いただける取り組みも行っています。これまでに延べ227団体をご紹介します、8,938,447円の募金を集めました。





また、2024年度はボランティアメニューを拡充しました。その一例として、パンメーカーにご協力いただき、毎週水曜日の閉店後に売れなかったパンを大阪の乳児院に届けています。寄付先の乳児院からは「こどもたちは自分が好きなものを選べる楽しさを知りました。生活に彩りを添えていただきありがとうございます」と喜びの声が寄せられました。ほかにもクリスマスの時期には、北海道にある百貨店の取引先からご提供いただいた生のモミの木を、こどもたちにプレゼントしたほか、阪急うめだ本店のクリスマスマーケットに乳児院のこどもたちをご招待。一緒にクリスマスツリーを見たり、ショーウィンドーの前で記念撮影したり

と、参加されたボランティアの方には、こどもたちの喜ぶ姿にやりがいを感じていただける貴重な機会となりました。

続く基調講演では、株式会社NTTデータグループ サステナビリティ経営推進本部 シニア・スペシャリスト 金田 晃一氏をお迎えし、『なぜ、企業は社会貢献活動に取り組むのか?』をテーマに、サステナビリティ経営の中での位置付けや、企業として社会貢献を行う必要性をお話いただきました(次ページ以降で内容を抜粋してご紹介します)。

閉会の挨拶に登壇した常務理事の林は、金田氏の提唱する指針が事業会社だけではなく、多くの社会貢献団体がその存在意義を改めて見つめ直すために非常に役立つものであるとの感想を述べました。また、賛助会員のみなさまへの深い感謝の念と、今後ご協力いただきながらこども支援に取り組んでいきたいという強い思いをお伝えし、報告会を締めくくりました。



基調講演

『なぜ、企業は社会貢献活動に取り組むのか?』

株式会社NTTデータグループ サステナビリティ経営推進本部 シニア・スペシャリスト 金田 晃一さん



現在では多くの企業に取り組んでいる「サステナビリティ経営」。環境や社会の課題を解決しながら、自社の成長をめざす経営です。

「サステナビリティ経営」を進めるための活動にはいくつかのタイプがありますが、今回はその中でも“社会貢献活動”に焦点を当て、具体的な進め方についてお話しします。

●社会課題を解決するために企業ができること

環境や人権などが守られ、誰もが安心して暮らし続けられるサステナブルな社会が求められていますが、その実現には、政府やNPOだけではなく、製品やサービスを通じて社会に大きな影響を与える企業の力が欠かせません。社会課題を解決しながら利益も出していくサステナビリティ経営を行う際、長期的な視点に立てば、社会貢献活動は企業にとっても利益をもたらす可能性があるアプローチのひとつになります。

サステナビリティ経営には、攻め・守り・支えの3つのタイプがあります。「攻め」とは、社会課題を解決する製品やサービスを市場に提供するアクションのこと。お客様にご購入いただき、使って

いただくことで、暮らしやすい社会が生まれ、企業の収益にも貢献します。一方で「守り」は、法令を遵守し、環境や人権問題を引き起こさない責任あるビジネスの進め方を言います。事業プロセス、すなわち、製品やサービスを作ったり、売ったりする過程で生まれてくる環境負荷(CO₂排出など)や社会負荷(人権侵害、法令違反など)を減らすことで、誠実な企業としての社会的評価が高まります。そして「支え」の視点が、今回のテーマである社会貢献活動に相当します。企業が所有するリソースやノウハウ、ネットワーク、ヒトやお金といった経営資源の無償提供を通じて弱い立場の方々を支援する活動ですが、企業自身にとっても様々なメリットが想定できます。

社会貢献活動を多角的に考えることで 大きなインパクトを生み出す

●6W3Hで活動方法を考える

社会貢献活動を成功に導くための考え方として、6W3Hモデルを提唱しています。この9つの視点から考えていくことで、具体的な社会貢献プログラムを策定する際のヒントが得られるかもしれません。

Why：社会と企業の双方にメリットがあることを明確にする。

Who：企業全体での活動、社員の自主活動、財団の設立など、誰が活動の主体となるかを整理。

What：企業が持つ人的資源や金銭・物的資源、情報発信力など、どのリソースを提供できるかを考える(下図参照)。

How much：最終的に目標とするインパクトから逆算して予算を検討。NPO側の運営経費も考慮する。

How long：期間を考える。長期的な視点を持ち活動を継続することで、より大きな成果が生まれる。

When：どの時期に行うかを決定。社会や社員の関心が高まるタイミングを狙って活動するのが効果的。

■【What】企業が提供できる経営資源リスト

資金		製品・サービス					施設			人的資源			専門知識・ノウハウ		ネットワーク・情報発信力		購買力	
寄付	協賛	自社製品・サービス	備品	換金可能品	株主優待品	専用施設	一般施設貸出	ボランティア	プロボノ	役員就任	従業員出向	職員受入	経営スキル	ITスキル	企業グループ連携	広告掲載	SNS拡散	商品・サービス
企業寄付	顧客ポイント	在庫処分	試作品	余剰品	切手・葉書	科学館	社員寮・保養所								企業グループ連携			
社員寄付	売上運動型寄付	現行品	ノベルティ	外国コイン		美術館								他社紹介				
マッチング寄付	顧客ポイント					音楽ホール												
						会議室												
						体育館・グラウンド												

出典：一般社団法人日本経済団体連合会「企業行動憲章 実行の手引き(第9版)」P.129より

6W3Hを具体的に理解し 社会価値と企業価値を高める

●デジタル人材を増やす支援活動

事例として、NTTデータグループの活動「NPTEchイニシアティブ」をご紹介します。この取り組みでは、全国で活動するNPOのIT利活用促進を目的に、日本全国のNPOを対象に行うリモートでのIT基礎講座です。日本NPOセンターが事務局となり、IT企業5社と協力し、各社社員が講師を務めます。

6W3Hで整理すると、「Why」はNPOのIT利活用促進と社員の社会課題理解促進、「Who」は企業とその社員、「What」は寄付金と社員プロボノ※、「How long」は5年間、「When」はIT需要が世界的に高まっている時期をイメージしました。「Where」は全国、「With whom」は日本NPOセンターとIT企業5社。このように社会貢献活動をさまざまな視点から考えることで、説明がしやすくなり社内外の理解度が高まります。

※仕事で培ったスキルや経験を活かす社会貢献活動のこと。



●社会・企業双方にメリットをもたらすために

社会貢献活動は社会課題の解決という社会にとってのメリットだけでなく、社員のモチベーション向上、リクルーティング、リスクマネジメントなど、企業にとっても多岐にわたるメリットを生み出します。最近では、社員をNPOの活動現場に派遣し、社会課題を学んでもらうことがトレンドになっており、社会課題を知った社員が自社の本業の力でその社会課題を解決しようという動きが生まれています。

社会貢献活動を6W3Hモデルに当てはめて整理し、社会と企業の双方にメリットをもたらす「win-win」の関係性を理解することで相互の信頼関係が深まり、活動を長く続けていく力になることを期待しています。

チャリティーの輪が広がっています

食品スーパーでのチャリティーパーク、恒例のNPOフェスティバルの実施やロハスフェスタ®万博への出展など、イベントを継続し、社会貢献団体と地域のみなさまをつなぎました。

たのしい、かんたん。 チャリティーパーク

地域と社会貢献団体をつなぐ“たのしい、かんたん。チャリティーパーク”を、関西スーパー・S&B杯ファミリーウォークラリー(万博記念公園)会場と関西フードマーケットファミリーミュージカル(豊中市)会場、そして、イズミヤショッピングセンター学園前で開催し、こども支援の輪を広げています。来場者からは、「関西スーパーは、阪急阪神百貨店と同じグループだったんですね」や「困難な状況にあるこどもの事を初めて知りました。募金できる機会をいただけてありがたい」というお声をいただきました。

ファミリーウォークラリーでは、関西スーパーの新入社員もH2Oサンタスタッフとしてお手伝い。グループの社会貢献活動を身近に感じてもらうことができました。

レポート:H2Oサンタ事務局 梅田 潔



チャリティーパークとは？

NPOクイズやチャリティー缶バッジ作り、おもしろ募金箱などで楽しみながらチャリティーに参加できるイベントです。



2月21日(土)
「ちびっ子健康マラソン」
イベントに出展予定!



ロハスフェスタ®万博 2025 春

開催:2025年5月3日(土・祝)~5日(月・祝)
会場:大阪・万博記念公園 東の広場

関西最大級の野外イベントであるロハスフェスタ®万博に、毎年春と秋の2回出展しています。子育てファミリーがたくさん来場され、NPOクイズを親子で解く姿は恒例となりました。

今回は阪急阪神百貨店の新入社員36名もH2Oサンタのスタッフとして、ブースを盛り上げてくれました。



レポート:H2Oサンタ事務局 梅田 潔



詳しくは
ブログを
みてね



レッド・ノーズ・デイ 2025

開催:2025年8月7日(木)<ハナの日>
会場:阪急うめだ本店 9階
祝祭広場

赤い鼻をつけて、入院中のこどもや自宅療養中のこどもたちに笑顔贈るチャリティーイベント「レッド・ノーズ・デイ with クリニクラウンズ」。毎年8月7日(ハナの日)にクリニクラウン(臨床道化師)と一緒に開催。会場には約100名が集まり、認定NPO法人日本クリニクラウン協会の活動のご紹介と正午に『ノーズ・オン』の掛け声で、一斉に赤い鼻をつけて、笑顔を贈り合いました。



レポート:H2Oサンタ事務局 蒲生祥子



詳しくは
ブログを
みてね



第21回 NPOフェスティバル

開催：2025年8月6日(水)～11日(月・祝)
会場：阪急うめだ本店 9階 祝祭広場



NPOフェスティバルとは？

世の中にまだ広く知られていない、子ども支援に取り組む社会貢献団体の有意義な活動をご紹介します。寄付を募るイベントです。

今回は、ヤングケアラー支援に取り組む「NPO法人ふうせんの会」を含む13の社会貢献団体をご紹介します。団体ご紹介ブースには、クイズラリーを楽しみながら、多くの方が立ち寄られます。クイズに全問正解するとガラガラ抽選でもれなくH2Oサンタのオリジナルグッズをプレゼント。1,595名に参加いただきました。夏休み中のたくさんの子どもたちが楽しくチャレンジしてくれました。

レポート：H2Oサンタ事務局 梅田 潔



第22回
NPOフェスティバルは
2月25日(水)～3月2日(月)
開催予定です



楽しく遊んで、学んで、体験する 「HANKYU子どもカレッジ」と連携



NPOフェスティバルの会場では、すべての講座がチャリティーにつながる30講座を実施。11,136名の子どもたちがチャレンジしてくれました。

点字の機械を使ったワークショップに参加してくれた女の子は、「目の不自由なおじいちゃんのために、点字で手紙を書く!」と一生懸命取り組んでくれました。また、保護者の方からは、「ここに来れば、子どもをチャリティーに参加させられるのありがたい」といったお声を多数いただきました。

レポート：H2Oサンタ事務局 森田英里



参加団体の声

NPO法人ふうせんの会

(ヤングケアラーがつながる場所を提供)



(写真左から) 事務局長代理 西川ゆかりさん、山中葉月さん

家族のケアを担うことや若者が夢をもって自分らしく生きられるような社会を目指し、ヤングケアラー同士の交流やリフレッシュイベントなどを行っています。イベントでは同世代のケアラーについて親子で考え、語り合う姿も見られました。自分がヤングケアラーだという自覚がなく、周りの人が気づいて初めて当事者だと知ることが多いのが現状。だからこそ、知ることが支援につながると伝えたいです。

認定NPO法人 プール・ボランティア

(障害児への水泳の体験を提供)



(写真左から) 事務局長 織田智子さん、城瀬太朗さん、松永彩花さん、理事長 岡崎寛さん

私たちは障害のある子どもへの水泳指導や、誰もが安心してプールを楽しめる水泳用品の開発・製作を行っています。年間4,000人の子どもたちがレッスンに参加していますが、ボランティア不足が近頃の課題です。イベントには高校生ボランティアも参加し、その魅力を直接伝えてもらいました。ブースでは車椅子や白杖などの体験を用意。多くの方に障害のある子どもの目線で考えていただける機会となりました。

一般社団法人星つむぎの村

(闘病中の子どもたちにプラネタリウムで星空を届ける活動)



(写真左から) 共同代表 跡部浩一さん、高木良輔さん
(写真右上から) 谷口加奈子さん、吉田桃さん、吉田恵子さん

長期療養中の子どもたちに星空を届けている団体です。出張プラネタリウムや、誰もが安心して星を見られるユニバーサルデザインコテージの運営などを行っています。今回のイベントでは星座カード作りのワークショップのほか、会場の真ん中にエアドームプラネタリウムを設置し、多くの方に星を楽しんでもらいました。今後も星を通して、たくさんの子どもたちと幸せを作っていきたいです。

土曜日の午後はH2Oサンタ チャリティートークイベント

開催：2025年4月～9月

会場：阪急うめだ本店 9階 祝祭広場



団体スタッフによるリコーダー演奏や絵本の読み聞かせも。
(公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所)

チャリティートークイベントとは？

毎週土曜日の午後3時に社会貢献団体のスタッフをお招きし、インタビュー形式で活動現場のリアルをお伝えるイベントです。



手話も方言があるんですと教えてくれました。
(認定NPO法人サイレントボイス)

だいています。こうした偶然の出会いから共感の輪が広がっていくことこそが私たちの願いです。難しいことは何もありません。お買物の合間に、少しでも私たちの未来に思いを馳せてみませんか？「知る」ことは、社会を変えるためのやさしくて大きな第一歩です。今度の土曜日、大階段でみなさまとお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

レポート：H2Oサンタ事務局 蒲生祥子



4月10日は
きょうだいの日

- 4/ 5 NPO法人しぶたね
(病気のこどものきょうだい支援)
- 4/12 公益社団法人小さないのちのドア
(妊産婦や赤ちゃんのいのちを守る活動)
- 4/19 NPO法人あっとすくーる
(ひとり親家庭のこどもたちの学習支援)
- 4/26 NPO法人子どもセンター めっく
(居場所がない少女のための避難ハウス運営)
- 5/10 NPO法人つなげる
(多胎児家庭(双子・三つ子など)のつながりを支援)
- 5/17 NPO法人日本サービスドッグ協会
(引退補助犬の支援)
- 5/24 NPO法人つなご
(居場所がない少女のための避難ハウス運営)
- 5/31 認定NPO法人サイレントボイス
(聴覚に障害を持つこどもの居場所作り)
- 6/ 7 一般社団法人ニュールック(new-look)
(高校を中退した若者の支援)
- 6/14 認定NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会
(フィリピンのこどもの教育支援)
- 6/21 認定NPO法人兵庫介助犬協会
(介助犬の育成、無償貸与)
- 6/28 公益社団法人こどものホスピスプロジェクト
(難病のこどもとその家族を支援)
- 7/ 5 NPO法人西成チャイルド・ケア・センター
(こども食堂を通じた地域のつながり作り)
- 7/12 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所
(里親・養親家庭をさがす活動)
- 7/19 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
(貧困や差別からこどもを自由にする活動)
- 7/26 認定NPO法人クラック
(困難な状況の中高生をデジタルの学びで支援)
- 8/ 2 社会福祉法人日本ライトハウス
(盲導犬の育成、無償貸与)
- 8/16 認定NPO法人日本こども支援協会
(里親制度の啓発・里親支援)
- 8/23 公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金
(小児がんや難病のこどもと家族の滞在施設の運営)
- 8/30 公益財団法人ゴールドリボン・ネットワーク
(小児がんのこどもたちを支援)
- 9/ 6 NPO法人西淀川子どもセンター
(こどもの食事・教育支援)
- 9/13 公益社団法人アジア協会アジア友の会
(きれいな水がないアジア地域へ井戸を提供)
- 9/20 認定NPO法人ノーベル
(訪問型病児保育で親子を支援)
- 9/27 NPO法人あっとオーティズム
(自閉症の理解促進のための啓発活動)

約4,800名の方々に
こども支援現場の
リアルな声を
お届けしました



2025年



今後のスケジュールは
H2Oサンタホームページや
Facebookをチェック！
みなさまのご来場
お待ちしております

阪急阪神百貨店の新入社員が手作りした “あかり”を難病と闘うこどもたちへ寄贈

入院中や自宅療養中のこどもたちに手作りの“あかり”を届ける「あかりバンク(認定NPO法人ノーサイド)」の活動に、阪急阪神百貨店の新入社員が参加しました。新入社員は心を込めて36個の“あかり”を制作。後日、兵庫県で開催された「認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク」のサマーキャンプにて、H2Oサンタとボランティアスタッフ、そしてあかりバンクの方と一緒にこどもたちへ寄贈しました。

手作りの温かみがある“あかり”を手にしたこどもたちからは「かわいい!」「早く家で飾りたい」といった歓声が上がり、点灯した“あかり”を見てニコリと笑顔がこぼれる場面もありました。「誰かのために」と思いを込めて作ったものが、誰かの笑顔につながる。こうした素晴らしい循環が続いていくよう、私たちはこれからもボランティア活動の仲介を続けてまいります。



あかりバンクの活動はこちら

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



寄付額合計 6,378,901円

能登半島地震支援金募金、チャリティーガイドやイベント、web募金で集まった寄付金を、50団体へ寄付いたしました。みなさまのご協力ありがとうございました。

寄付先団体
からのお声

H2Oサンタのブログにて、毎月の寄付報告を掲載しています。



NPO法人
西淀川子どもセンター
(こどもの食事・教育支援)
代表理事 西川奈央人さん



西淀川子どもセンターでは、「こどもたちが何か困った時に、気軽に相談できる人や場所を地域に」と、安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。主に土曜日の夕方に、食事や学習・遊びの時間を共にしながら、こども一人ひとりの気持ちに寄り添う活動を行っています。お寄せいただいたご寄付は、こどもたちに提供する食材の購入、学習支援に必要な教材費、体験活動にかかる費用などに活用させていただいています。こどもたちがボランティアと一緒に食事を作って食べ、遊んだり語り合ったり、時にホッとする時間になったり、みなさまのご支援がそんな場を継続することにつながっています。

インフォメーション

川西阪急スクエア2階に チャリティーガイドが登場!

2025年5月16日(金)にグランドオープンした川西阪急スクエア2階に、H2Oサンタチャリティーガイドを新設。こども支援に取り組む社会貢献団体を常設でご紹介しています。コインを落とすと音を奏でる“メロディー募金箱”はこどもたちにも大人気!



レポート:H2Oサンタ事務局
原田郁子





一般財団法人H2Oサンタは、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体です。
 こども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした
 4つの活動を行っています。

1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

3 ボランティアの仲介

ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

4 調査・発表

こどもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

H2Oリテイリンググループ

百貨店、スーパーマーケットなど小売業を核とし、
 地域のみなさまの生活に貢献する生活総合産業グループです。



賛助会員ご加入のお願い

H2Oサンタの活動を継続するために、
 みなさまの温かいご支援をいただけますと幸いです。
 私たちの活動にご賛同いただき、
 お力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

お申込み



【年会費】

法人会員 ——— 1口 50,000円

個人会員 ——— 1口 5,000円

会員様一覧



一般財団法人H2Oサンタ事務局

TEL:06-6313-9304 (10:00~18:00) ※火・日曜以外

Mail:h2osanta@h2o-retailing.co.jp

